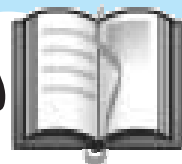




TOWN
TOPICS

まちのわだい



総合型地域スポーツクラブ設立にむけ

体育指導委員が研修

阿蘇市では、総合型地域スポーツクラブの来年度スタートを目指し、現在、準備委員会設立に向け取り組んでいます。幅広くスポーツ界をリードする阿蘇市体育指導委員会でも勉強会が展開される中、6月30日は、総合型地域スポーツクラブの先駆者である島田正博氏（火の国広域スポーツセンター職員）を講師に招き、立ち上げから現在の状況までを学びました。阿蘇市民にベストな形の活動とは？と多数の課題も見出された今回の研修。今後、体育指導委員は、市教育委員会とともに設立に向け学習会を行い、その後、市民全体に周知、理解を求めていく予定です。

<総合型地域スポーツクラブとは>

誰もが、いろんなスポーツを楽しめる自主運営クラブです。利点として、種目が増え、好きな種目をいくつも楽しむことができます。レベルに応じた一貫した指導が受けられます。少子化にも対応して、まとまったチーム編成で試合にも参加することが可能になります。



阿蘇市操法競技大会

第15分団1班(東黒川)、第1分団機動班が優勝！

7月23日、農村公園あびかで、第1回阿蘇市操法競技大会が開催されました。県大会出場枠をかけて小型ポンプの部には16の精鋭チームが、ポンプ車の部には5チームが出場し、白熱した競技が繰り広げられました。どのチームも、今日のこの日のために並々ならぬ練習を積み重ねてきたことが伝わるすばらしい操法競技を行い、見るものを魅了しました。結果、小型ポンプの部では第15分団1班(東黒川)が、ポンプ車の部では第1分団機動班が優勝し、県大会へのキップを手に入れました。午後からは、規律訓練が行われ、第16分団が優勝しました。中通少年消防クラブも参加し、立派な規律を披露しました。



8月27日に人吉市で開催される県大会でも優勝目指して頑張ってください。ご活躍を期待しています。



▲第15分団1班(東黒川)の選手



▲第1分団機動班の選手

<操法競技結果>

小型ポンプの部

- 第1位 第15分団第1班(東黒川)
- 第2位 第3分団第3班(東仲町・西仲町・上町・福岡)
- 第3位 第1分団第3班(塩塚)
- 第4位 第2分団第4班(西1・2・3区)
- 第5位 第2分団第2班(分1・2・3区)

ポンプ車の部

- 第1位 第1分団機動班
- 第2位 第10分団第1班(内牧2・3区)

通常点検

- 第1位 第16分団(南黒川・元黒川・上西黒川)
- 第2位 第12分団(小池・黒流町・今町・下の原・新村・小野田町・本村)
- 第3位 第17分団(下西黒川・乙姫・黒川千丁)

県内有数の高原野菜の産地

波野産キャベツの出荷がピークを迎えます



7月10日、特産の夏秋キャベツの豊作と出荷作業の安全を願って、JA阿蘇波野支所キャベツ部会主催によるキャベツ豊年安全祈願祭が行われました。豊年安全祈願祭の最後には冷涼な気候で栽培したおいしい夏秋キャベツが、テープカットとともに早速トラックに詰まれて出荷されました。県内一の出荷量を誇るこの夏秋キャベツは約4,600トンの出荷を目標に今後11月末まで九州一円に出荷されます。

※なお、おいしいキャベツ料理のレシピを36ページに掲載しております。

「非行や犯罪のない 明るい社会をつくろう！」

街頭パレードで呼びかけ

7月ば「社会を明るくする運動」強化月間です。これにちなみ阿蘇市内の保護司、阿蘇中部更生保護女性の会のみなさんが、7月4日小雨の中、阿蘇市内一円を街頭パレードし、重点目標である「犯罪や非行の防止、罪を犯した人の更正への理解」などを呼びかけました。

第56回目となるこの運動は全国的に展開されています、皆様のご理解ご協力をお願いします。



永年の功績を称えて

全国市区選挙管理委員会連合会表彰

永年、選挙管理委員を務め、選挙の取りまとめ役としてご尽力された3人の方が、全国市区選挙管理委員会連合会より表彰されました。

7月3日、市長より児玉勝さん、佐伯主計さん、古澤一丸さんの3人の方へ表彰状の授与式が行われました。児玉さんは委員を5年10ヶ月及び委員長を4年9ヶ月、佐伯さんは委員を16年、古澤さんは委員を11ヶ月及び委員長を6年1ヶ月務められています。

本年度は阿蘇市議会議員選挙もあります。今後とも宜しくをお願いします。



▲左から、児玉さん、佐伯さん、古澤さん

中通ホタルを守る会がホタルの幼虫をプレゼント

7月10日、中通ホタルを守る会(岩本弘史会長)が、中通小学校にホタルの幼虫をプレゼントしました。幼虫の育て方や大きくなる過程を説明する岩本さんの話を、子どもたちは熱心に聞いていました。飼育された幼虫は10月に放流され、来年の6月にはより多くのホタルが乱舞することでしょう。

中通ホタルを守る会は現在7名で年間を通して活動しています。ホタルは環境のバロメーターと話す岩本会長。6年前から行っている、希望者にホタルの幼虫をあげホタルを増やす活動や、2年前から地元のボランティア60名ほどの方々と共に近隣に彼岸花の植栽を行い、環境美化活動に努めるなど、地域に貢献しています。



▲中通小学校児童にホタルの育て方を説明する岩本さん

スポーツ用具等を寄贈

旧阿蘇町スポーツ傷害互助会が貢献

7月19日、旧阿蘇町スポーツ傷害互助会(元会長 渡邊健児氏)から、養護老人ホーム上寿園にスポーツ用具等が寄贈されました。阿蘇町スポーツ傷害互助会は町村合併を機に解散。その後、加入金の残金の有効利用として、地域のために貢献しようと、老人の方々の健康回復にあてられました。ありがとうございました。



▲渡邊さん(右)

楢木野地区の盆踊り、45年ぶり復活

懐かしの口説きが蘇る

波野には、古くから受け継がれている「盆踊り」があります。

赤仁田地区、遊雀地区、仁田水地区では、お盆になると、集落の人たちが初盆の家へ出向き庭で踊り、故人の供養をしています。

45年間、盆踊りがとだえている楢木野地区でも、森新一区長はじめ有志たちが、復活しようと6月から練習を開始しました。地域の伝統を残そうと、子どもからお年寄りまで約30人の地区住民が毎週体育館に集合。実際45年前に踊っていたという4名の大先輩の指導で、花引き・東山・七つ拍子・さえもん・やおや八百屋・三つ拍子・さんかっ・段七の7種の踊りを練習。

踊りには、音楽は無く、口説きと、踊り手の囃子のみで行います。

初披露となる8月14日日本番では初盆のお宅4軒を回ります。

昭和30年代当時の写真をお持ちだった後藤幸生さん(73歳)

は「昭和30年代まで盆踊りは盛んに行われていた。竹田市役所での盆踊り大会で楢木野地区は当時3位に輝く腕前だった。今回の復活は、何よりお年寄りたちが喜び、楽しみにしている。14日は4軒回るので、4~5時間かかる、みんなでがんばりたい」と、地域の人たちが気持ちよく賛同し練習する姿を見て大変うれしそうでした。



▲昭和30年代の盆踊りのようす



▲現在行われている練習のようす



▲写真コメント

全国盲学校弁論大会に出場！

「緊張せず、自分の思いを伝えてきたい」

第29回九州地区盲学校弁論大会が6月16日、大分市で開催され、熊本県立盲学校専攻科に通う、園田義和さん(内牧5区、41歳)が優秀賞に選ばれ、10月20日、大阪市で開催される全国大会へ出場すること決まりました。

5年前、園田さんは目に異常を感じ病院へ。しかし原因がわからないまま病と闘う日々が続き、やがて「ベーチェット病」と診断。この病気は個人差はあるものの、徐々に視力を失う病気で、現在は左目だけがわずか光を感じる程度とのことです。突然襲われた病のせいで仕事や大切なものを失いふさぎこんでいた園

田さん。見かねたお姉さんが盲学校での再起を勧め、2年前盲学校に入学。学校生活の中でようやく生きる力が出たと園田さん。現在は、保健療養科でマッサージ師を目指しがんばっています。今回の弁論大会では、病気が発覚してから現在までの自分を語り、途中で作詞作曲した「CAN DO」という歌を手話を使って歌い、人々の心に元気を贈りました。とてもすばらしい弁論です。この歌は、阿蘇市インターネットTVで聞くことができます。

全国大会でも、多くの人々の心を明るく導いてほしいですね。がんばれ園田さん！

サッカー大会を誘致して阿蘇市の活性化に一役

九州高校生大会を開催



伊藤博友さん(東2区75歳)は、最近のサッカーブームに乗り、阿蘇市で大きな大会を催し地域を活性化させたいと「第1回阿蘇市九州高校サッカー大会(主催 阿蘇郡市サッカー協会)を立案し開催を実現されました。

伊藤さんは、青少年の健全育成も願い、これまで大会開催に向け大変尽力されました。運営もほとんど自費で行われています。大会は7月15～17日、農村公園あびかで行われ、地元高校を含め9校が熱戦が展開。期間中、選手のほか、たくさんの関係者が訪れ経済効果につながりました。また来年も開催の予定ですので大会の応援よろしくをお願いします。



出会う「きっかけ」を演出

独身男女の交流会



阿蘇青年会議所(竹原隆樹理事長)が主催した「出会いわくわく交流会」が7月22日、竹原牧場で催されました。これは、阿蘇市で仕事柄、女性との出会いが少ない独身男性に女性と話すきっかけをと、企画されたものです。阿蘇が好きな熊本市の独身女性との交流の場をもうけ、いっしょにソーセージ作りやゲーム、バーベキューを楽しみました。阿蘇青年会議所では、阿蘇市の少子化にプラスになればと昨年から取り組んでいます。来年も開催される予定です。どしどしご参加ください！なお、阿蘇青年会議所では、会員を募集しています。(TEL24-6117)

「早ね、早起き、朝ごはん」国民運動

親子でみそ汁つくりに挑戦

阿蘇市青少年健全育成市民会議では、夏休みの期間、子どもの生活リズムの向上を目的とした文部科学省の委託事業 県内で1 つ「早ね、早おき、朝ごはん」国民運動に取り組むことが決まり、早速、第1 回目として、7 月2 1 日、中通小学校で「早朝みそ汁づくり」を行いました。朝6 時から、保護者、食生活改善グループ、学校の協力で、児童たちは調理を開始。じゃがいも・わかめ・にら入りのみそ汁を作りました。主催者が朝ごはんや家族で囲む食卓の大切さを話し、皆で再確認しました。なお、この事業は内容をかえ、あと4 回実施されます。



J R 宮地駅で歓迎式

観光列車「あそ1962」阿蘇路を走る

昨年8 月末にSL あそボーイの運行が終わり寂しかった豊肥線に、こげ茶色の車体に金ラインの粋な観光列車が走り出しました。J R 九州が阿蘇のイメージに合わせ改造した「あそ1962」。車体全体はレトロ調で、自転車とともに乗れるのが特徴です。7 月2 2 日熊本駅で出発式が行われ、終点となる宮地駅でも列車の到着と同時に歓迎式が盛大に行なわれました。阿蘇高校吹奏楽部の歓迎演奏の中、乗客の代表に佐藤市長が花束を贈り「あそ1962」号がこれから多くの人たちに親しまれ阿蘇観光の目玉となるよう期待を込めて祝いました。



◀ 自転車の設置スペース

内牧一区が宝くじ助成事業で地域活動備品及び内牧湯山東公園一帯を整備

地域社会の健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、内牧一区が地域活動備品及び内牧湯山東公園一帯を整備しました。

このコミュニティ助成事業は、宝くじの普及広報事業費を財源として、財団法人自治総合センターが助成決定を行うもので、今後、地区住民の健康づくり推進や環境学習の知識向上、大人と子どもの世代間交流、地域住民のコミュニケーションを図るのに役立てていきます。



46年間お世話になりました

波野中学校建て替えて最後の片付け



来月に新校舎になる波野中学校で、旧校舎の最後の片付けが7月22日行われました。翌日から解体工事に入るとあって、思い出の詰まった学び舎とも、この日がいよいよ最後。早朝から集まった生徒や先生、保護者の皆さんは、懸命に作業をし、お世話になった学校に別れを告げました。また、先日、40年前の卒業生が集まって学び舎で同窓会も行なわれました。

阿蘇市公民館(分館)長・分館主事の交替がありました。

阿蘇市公民館では、生涯学習や地域世代間交流の拠点施設として、さまざまな活動が展開されています。その中心として努められている館長(分館長)と主事に、一部交替がありましたのでお知らせします。今後も皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

	職名	新	旧
阿蘇市公民館	館長	日吉純夫	
宮地分館	分館長	齊藤功	高橋佳也
中通分館	分館長	岩本弘史	園田盡
〃	主事	甲斐純一郎	岩下純男



ボランティア活動 ありがとうございました!

<古神2区第8隣保の皆さん> ☆花植え☆

一の宮町古神2区第8隣保(井野亜紀夫班長)の皆さんが、6月29日、市道(化粧原竹の内線)沿いに昨年に続き花を植えられました。今年も、マリーゴールド、ひまわりなど600本を植栽。また、これらの苗は、西河原老人会園芸クラブの皆さんがご提供されたものです。

<波野村商工会の皆さん> ☆清掃活動☆

7月15日、波野村商工会青年部(後藤吉信部長)の皆さんが、婦人部や近所のグループとともに、JR豊肥線滝水駅周辺の美化活動を行いました。暑い中での作業お疲れ様でした。

<古神2・3区の皆さん> ☆花植え、美化活動☆

一の宮町古神2・3区の役員、老人会、婦人会、子ども会、青少年育成協議会の皆さんが、7月16日、国道57号沿い(仙酔峽登り口の空き地(フルキ石油さん所有))に色鮮やかな花々を植えました。



全国大会出場おめでとう。がんばれ選手たち！

全国高等学校総合体育大会 (インターハイ) 出場

陸上競技

4 × 400 mリレー (1600 mリレー)
江良唯華 (信愛女学院高校3年、波野中出身)
期日 8月5・6日
場所 大阪市長居陸上競技場

第17回全国都道府県中学校 相撲選手権大会出場

相撲

個人 岩本拓也 (阿蘇北中学校3年)
期日 8月6日
場所 東京両国国技館

第9回全日本女子ジュニア 柔道体重別選手権大会出場

柔道

個人 52 Kg級 井上愛耶香 (阿蘇高校2年)
期日 9月9・10日
場所 埼玉県立武道館

第21回全国盲学校野球大会出場

野球

木村 久 (42歳、内牧1区)
(熊本県立盲学校専攻科理療科2年)
期日 8月23～25日
場所 新潟県

※熊本県立盲学校が九州大会で優勝したのは16年ぶり。木村さんはキャッチャーとして出場します。木村さんは小さい頃から弱視で、さらに数年前、両目とも網膜はく離しました。現在、鍼灸の勉強とスポーツにがんばっております。



22店舗の「トマト & ブルーベリー」逸品が堪能できる

おいしいイベントは内牧商店街で8月31日まで！

「Tomattoベリーな街」実行委員会(吉澤寿康会長)では、2年前から、地元で採れた農産物を素材に、地元店主が腕によりをかけた逸品でお客さまに楽しんでもらうイベントを年3回開催し内牧商店街を盛り上げています。

この夏は、8月31日までの期間限定で「トマトとブルーベリー」の逸品をずらり用意しました。内牧商店街の22の店舗が自慢の商品をきっかけに「心づくしのおもてなし」「また来たい内牧」を目指します。今回は各店舗をラリーできるお得なゲームもついています。ぜひ、各店に置いてあるマップをヒントに内牧を散策してみてください。木製の看板が目印です。また、マップは宿泊者にも配られます、道などたずねられたら親切におもてなししましょう。

詳しくは事務局、TEL32-0041まで。



▲7月19日、はな阿蘇美で行われたオープニングの模様。今回の参加者とオリジナル商品。